都市づくりの理念・目標について

資料３

１．課題の整理

第１章「前計画の評価」及び第２章「各務原市の現状課題の整理」を踏まえ、これからの都市づくりにおける視点（キーワード）及び課題を整理します。

分野		現状・課題（抜粋）
基本的現況	人口動態	①年少人口・生産年齢人口は減少、老年人口は増加しており、少子高齢化が進行。 ②出生・死亡による自然増減、転入・転出による社会増減ともに平成 22 年以降減少。 ③市街化区域の人口が増加する一方、市街化調整区域の人口減少が顕著。 ④市街化区域において、郊外の大規模住宅団地等は可住地人口密度が高いが、高齢化率も高く、人口減少が進行。 ⑤人口動態を見据えた、教育施設、公共施設の整備、維持管理等の検討が必要。
	産業	⑥航空宇宙産業をはじめとする製造業が集積しており、製造品出荷額等が県内 No. 1 のものづくりのまちであるが、工業系用途地域内に一団の未利用地がない。 ⑦小売吸引力指数が 1.00 以上の都市であり、魅力ある商業の集積が図られている。 ⑧農業産出額は減少傾向にあるが、農地の集約化が進んでいる。
土地利用		⑨鉄道、国道沿いに市街化区域を設定し、交通の利便性を生かした市街地の形成を行ってきたが、市街化調整区域の鉄道駅周辺では、無秩序な土地利用が進行しつつある。 ⑩鉄道駅周辺には平面駐車場を中心に、都市的土地利用の低未利用地が見られる。 ⑪前計画の主要課題としていた新鵜沼駅周辺の高度利用、⑫城山の活用方針の検討が積み残された課題である。 ⑬新たな都市計画道路の整備を見据えた沿線の有効な土地利用、岐阜各務原インターチェンジ周辺の産業拠点の形成に向けた継続的な検討が必要。
都市施設	道路	⑭渋滞対策、周辺市町の道路ネットワークの強化等の役割が期待される都市計画道路の整備が着実に進捗。 ⑮旧集落地内等に緊急車両等の円滑な通行が困難な狭あい道路（２～３m程度）が存在。
	公共交通	⑯市内に 16 の鉄道駅を有している。また、デマンド型交通が運行開始したことにより、鉄道駅・バス停から離れた地域含め、ほぼ全域をカバー。 ⑰既存の交通網を活かした地域交通サービス充実の検討が必要。
	公園・緑地	⑱北部に丘陵地帯、南部に木曽川、中心を桜並木とともに清流が流れる美しい自然環境。 ⑲住民一人当たりの都市公園の敷地面積が 17.0 ㎡/人と高い水準。一方、老朽化が進む維持管理コスト増加の懸念や質の高い公園としてリニューアルが求められている。
	下水道・河川	⑳経年劣化により施設の老朽化が進んでおり、長寿命化を図る必要がある。 ㉑境川は下流河川断面が不足しており、流域内における雨水の流出を抑制する貯留施設整備等の総合的な治水対策が必要。
市街地整備		㉒東部拠点では土地区画整理事業、西部拠点では新那加駅周辺のバリアフリー化を実施。 ㉓地区計画道路の整備状況は、令和６年度現在、約 28%に留まっている。 ㉔新たな土地区画整理事業の立上げ、ウォーカブルなまちづくり推進。
その他分野	景観、歴史・文化	㉕各地域の特色に応じた景観形成の誘導。 ㉖市の歴史的・文化的な資源を活かしたまちづくりの推進。
	安全安心	㉗土砂災害、浸水リスクのある地域が存在。総合的な防災・減災の取り組みが必要。 ㉘交通事故・防犯に対する対策の促進が必要。
	環境対策	㉙ごみ焼却量は年々減少傾向、リサイクル率は 27%前後と高水準を維持。
	市民協働	㉚まちづくり活動に参加したい市民の割合等が減少傾向。

キーワード	主なまちづくりの課題
土地利用	人口減少や市の地域特性を踏まえた集約型都市構造の形成（①②③⑨⑩）
公共交通	優れた鉄道利便性を活かした公共交通の利便性向上（⑯㉑） 郊外の大規模住宅地等をつなぐ地域交通ネットワークの充実（④⑯⑰）
居住環境	市街地整備、地区施設整備等による良好な住環境の提供（⑮㉒㉓㉔）
産業	市の活力となる産業基盤の強化と新たな拠点の形成（⑥⑦⑧⑪⑬）
公共施設の維持管理	持続可能な公共施設、教育環境の整備（⑤⑭⑳）
緑・環境	豊かな自然環境の保全（⑱㉙） 自然が体感できる空間の創出、利用したくなる公園機能の維持・拡充（⑲）
安全安心	土砂災害、浸水リスクへの対応（㉑㉗） 狭あい道路や交通安全、防犯への対応（⑮㉘）
歴史・文化	景観及び歴史文化資源の活用（⑫㉕㉖） 都市の個性や魅力づくり
市民協働	多様な担い手のまちづくりへの参加、機運の醸成（㉚）

2．都市づくりの理念・目標

本市の最上位計画である総合計画における将来都市像を実現するために、第２章で整理した各務原市の都市づくりの課題を踏まえ、これからの各務原市の都市づくりにおける理念・目標を定めるとともに、都市づくりの目標から都市の姿を展望し、土地利用などの基本的な方向性を「都市整備の方針」に定めます。

将来都市像

もっと　みんながつながる　笑顔あふれる　元気なまち
～しあわせ実感　かかみがはら～

都市づくりの課題

キーワード	主なまちづくりの課題
	都市づくりの理念１　交通軸からつながる生活圏で暮らせる都市
土地利用	人口減少や市の地域特性を踏まえた集約型都市構造の形成
公共交通	優れた鉄道利便性を活かした公共交通の利便性向上
	郊外の大規模住宅地等をつなぐ地域交通ネットワークの充実
居住環境	市街地整備、地区施設整備等による良好な居住環境の提供
	都市づくりの理念２　にぎわいと活力を持続発展する都市
産業	市の活力となる産業基盤の強化と新たな拠点の形成
公共施設の維持管理	持続可能な公共施設、教育環境の整備
	都市づくりの理念３　まちと自然が調和した都市
緑・環境	豊かな自然環境の保全
	自然が体感できる空間の創出、利用したくなる公園機能の維持・拡充
	都市づくりの理念４　　安全・安心な都市
安全安心	土砂災害、浸水リスクへの対応
	狭あい道路整備や交通安全、防犯対策
	都市づくりの理念５　歴史・文化を継承・活用する都市
歴史・文化	景観及び歴史文化資源の活用
	都市の個性や魅力づくり
	都市づくりの理念６　多様な主体が参加・協働する都市
市民協働	多様な担い手のまちづくりへの参加、機運の醸成

都市づくりの理念・目標　／　**都市整備の方針**

	目標	土地利用	都市施設：道路	都市施設：公共交通	都市施設：公園・緑地	都市施設：下水道	都市施設：河川	都市施設：その他都市施設	市街地整備	関連分野：景観	関連分野：歴史・文化	関連分野：安全安心	関連分野：環境対策	関連分野：市民協働
都市づくりの理念１　交通軸からつながる生活圏で暮らせる都市														
公共交通ネットワークを活かしたコンパクトな都市づくり	目標	●		●				●	●					●
居住環境の整った便利で暮らしやすい都市づくり	目標	●	●	●				●	●					●
都市づくりの理念２　にぎわいと活力を持続発展する都市														
既存産業の振興、新たな産業を創出する都市づくり	目標	●	●											
公共施設等の利活用と長寿命化が適切に図られた都市づくり	目標		●			●		●						
都市づくりの理念３　まちと自然が調和した都市														
美しい水と緑を継承・創出する都市づくり	目標				●					●	●		●	●
都市づくりの理念４　　安全・安心な都市														
災害への備えが整った都市づくり	目標					●	●					●		●
市民の安全・安心を支える都市づくり	目標		●						●			●		●
都市づくりの理念５　歴史・文化を継承・活用する都市														
歴史・文化資源を保全・活用した魅力ある都市づくり	目標				●					●	●			●
郷土への誇りや愛着を醸成する都市づくり	目標									●	●			●
都市づくりの理念６　多様な主体が参加・協働する都市														
多様な担い手が参加・協働できる都市づくり	目標			●	●				●	●	●	●	●	●

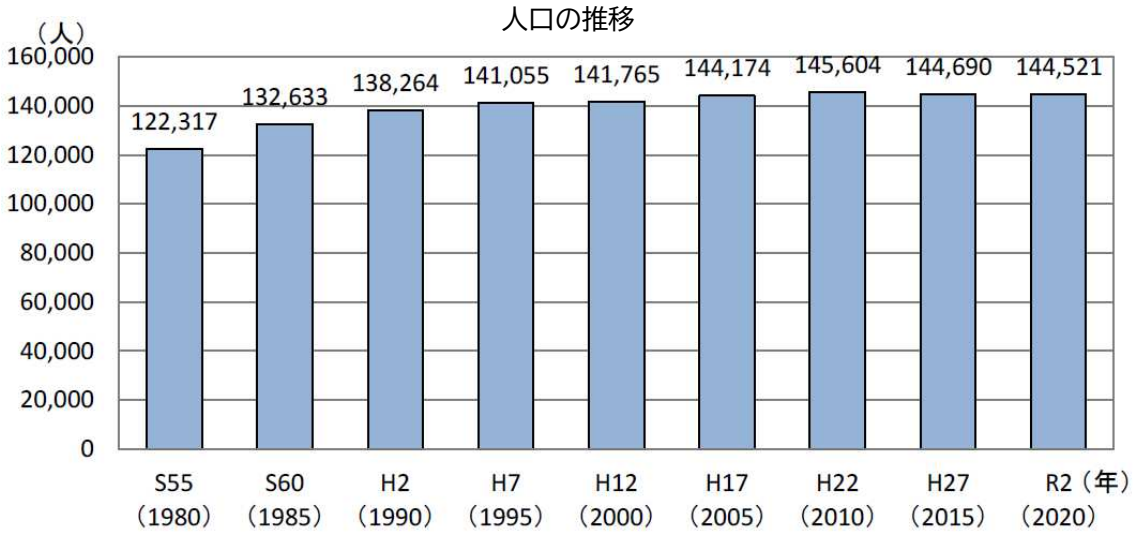
3．将来都市フレーム

本市がめざす将来都市構造を定めるにあたり、本計画では、目標年次における人口規模を「人口フレーム」として設定します。

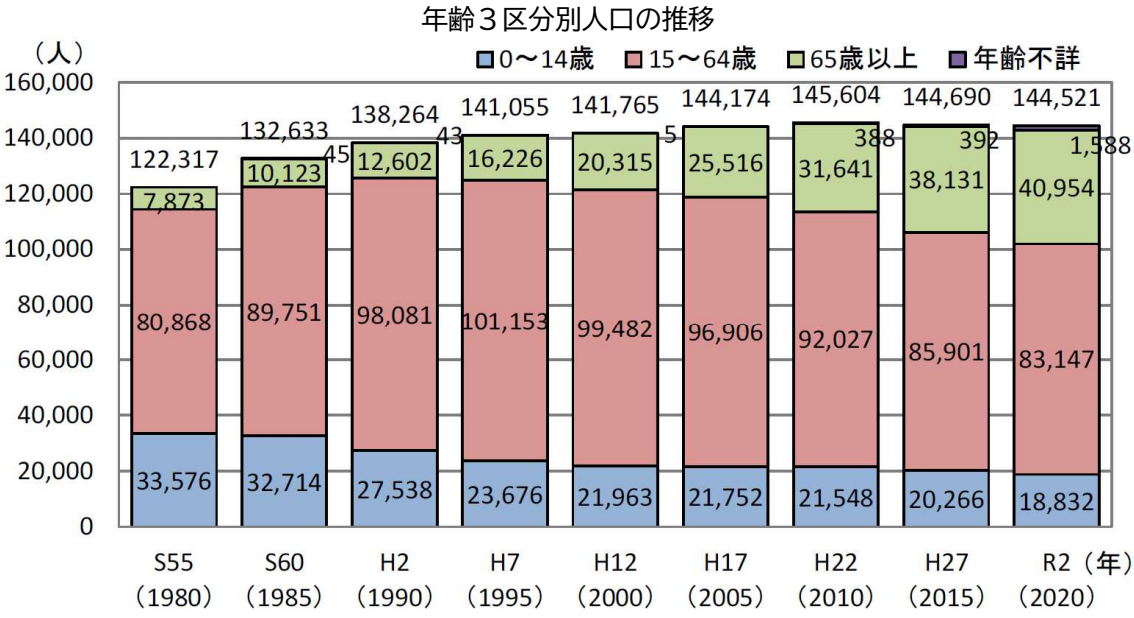
（1）人口推移

本市の人口は、昭和 38（1963）年の市制施行から一貫して増加してきましたが、平成 22（2010）年をピークに減少に転じており、令和２（2020）年の人口は 144,521 人となっています。

年齢３区分別人口は、０～14 歳人口が減少傾向、15～64 歳人口は平成７年をピークに減少へと転じ、以降は減少傾向が続いています。65 歳以上人口は一貫して増加傾向となっています。



出典：各務原市総合計画



出典：各務原市総合計画

（２）人口フレーム

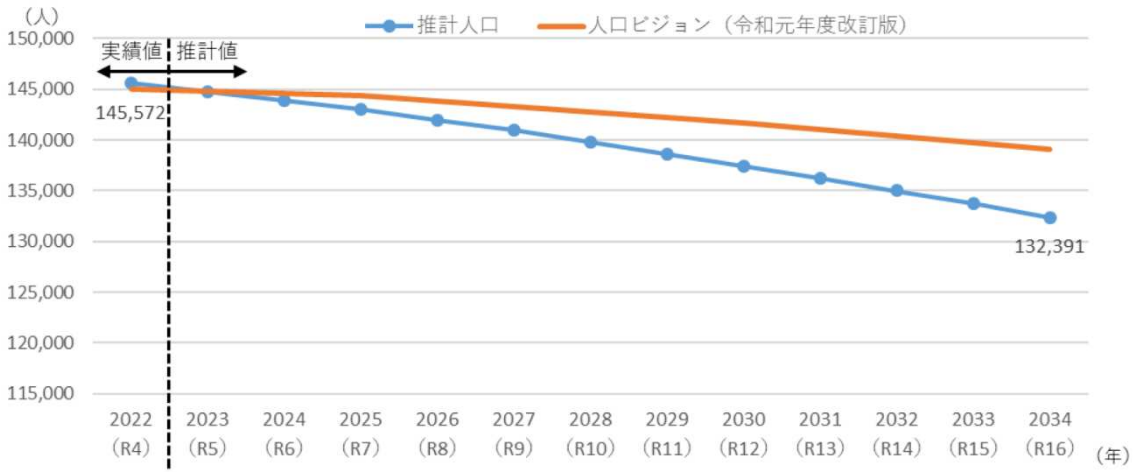
本市の令和４年住民基本台帳による人口は 145,572 人です。平成 29 年と令和４年の住民基本台帳の人口を基にコーホート要因法を用いて将来人口を推計すると、本市の人口は総合計画の最終年度（令和 16 年）には約 132,000 人まで減少すると見込まれています。

なお、令和７年に策定した人口ビジョンでは、令和 42 年には約 100,000 人まで人口が減少するという予測を踏まえ、令和６年に 145,000 人、令和 42 年に 120,000 人の人口の維持を目指しています。

本計画は、総合計画と整合を図り、人口減少・少子化対策を重点に、生活環境の充実や安全安心の向上、産業の活性化や子育て支援の充実などまちの魅力をさらに高める取組の推進によって、特に子育て世代など若年層の移住･定住を促進し、人口の増加をめざし、本市の令和 16 年の人口フレームを 140,000 人と設定します。

目標年次(令和 16 年)における人口フレーム　140,000人

人口推計



出典：各務原市総合計画